

インフラツーリズムについて

インフラツーリズムとは、旅行会社等が行う観光ツアーの中に、九州地方整備局が整備や管理している道路やダムなどの施設を組み込み、見学できる仕組みです。

九州地方整備局では、現場見学会をインフラツーリズムとして取り込んで頂くことにより、以下の効果を期待しています。

- ①整備している社会資本の役割についてより理解を深めてもらい、興味を持って頂くこと。
- ②社会資本と地域の豊富な観光資源をセットにした周遊の観光ルートを開発し、観光交流の増進による地域活性化の一助とすること。

現場の「今」をご案内します！

～ 家族や団体で見学しませんか！～

■ 交流や物流を支える地域高規格道路 (有明海沿岸道路)



○お問い合わせは次のところまで
福岡国道事務所
TEL:092-681-4811

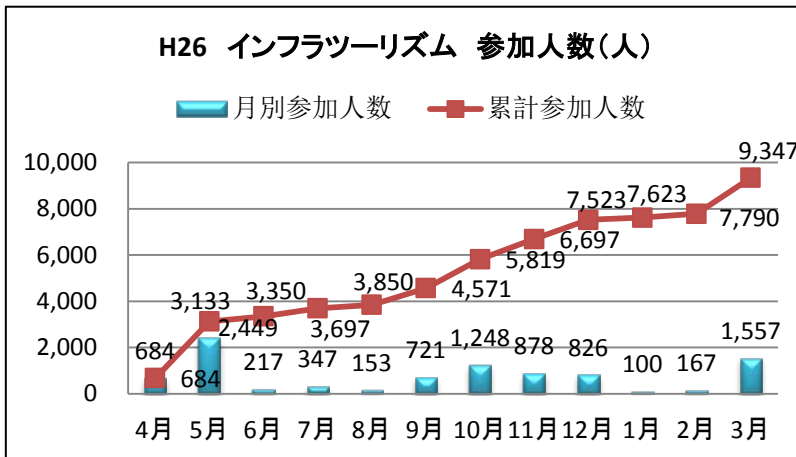
リアルタイムで見る。
めったにできない体験



大きなボルトを締める体験

私たちの豊かな暮らしに欠かせない道路やダム、港などの社会資本(インフラ)は、どのように建設され、管理されているのでしょうか。
九州地方整備局では、見学可能な工事現場や施設を無料で案内しています。
是非、一度、インフラの『現場』に来ませんか。

インフラツーリズムの実績



■ H26年度は、
累計で1万人に迫る

- タイアップした会社や団体等
- タビックスジャパン
- 日本旅行
- さつま町旅館組合
- 鹿児島県旅行業協同組合「魅旅」
- 北薩摩振興推進協議会

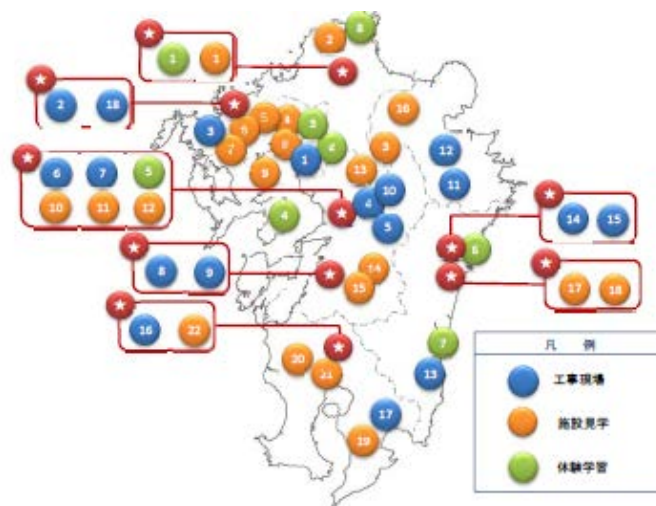
(佐賀県)唐津伊万里道路	53名
(長崎県)大野木場監視所	9,093名
(熊本県)下笠ダム	22名
(鹿児島県)鶴田ダム	179名
合計	9,347名

九州地方整備局HP 「今見てほしい九州の土木」 では全40施設を掲載！

現場見学会を希望の方は、まずは、九州地方整備局のホームページ
「今見てほしい九州の土木」を確認し、お申し込み下さい。

<ホームページアドレス>
<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-torikumi/kyushu-doboku/index.html>

「今見てほしい九州の土木」で検索しても確認できます。



九州地方整備局では、トンネル工事、橋梁工事、ダム管理施設など、全40施設を紹介

■雲仙普賢岳噴火災害からの復興 (大野木場監視所)

雲仙普賢岳のかつての噴火や土石流による被害の様子をありのままに伝えています。

同時に、雲仙普賢岳の土石流災害から町や人を守るために建設している砂防堰堤の工事現場も見学できます。



雲仙普賢岳を眼前に防災学習

○お問い合わせは次のところまで
大野木場砂防みらい館
TEL:0957-72-2499



■豪雨災害等から暮らしを守るダム建設事業 (大分川ダム)

大分川ダムでは、平成26年からダム本体の工事を着々と進めています。

『いまこの瞬間しか見ることのできない』ダム現場を是非ご覧下さい。
見学会は、月1回程度の頻度で開催しています。



○お問い合わせは次のところまで
大分川ダム建設野津原推進室
TEL:097-586-4491



■豪雨等から暮らしを守るダム事業 (鶴田ダム再開発事業)

圧倒的なスケール感の工事現場。

普段はなかなか見ることが出来ないダム操作室やダム内部の管理用トンネル、ゲート室も見学できます。

このエリアでは曾木の滝、奥薩摩のホタル舟も有名であり、地元旅館組合や旅行会社と連携して観光交流の増進による地域活性化を進めております。



○お問い合わせは次のところまで
川内川河川事務所
TEL:0996-22-3282

